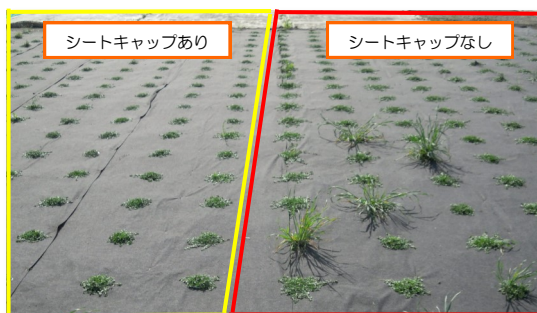


クラピアシートキャップ工法

「クラピアシートシリーズ」と「シートキャップ」を併用した工法です。シートキャップ工法専用工具（レンタル）を揃えたことで省力化や施工精度が向上し、施工直後に植え穴から発生する雑草は従来工法に比べ減少させることができる工法です。



シートキャップ工法の全体図（植栽直後）



植栽から45日経過（キャップあり草抜き0回）



シートキャップ使用した状態

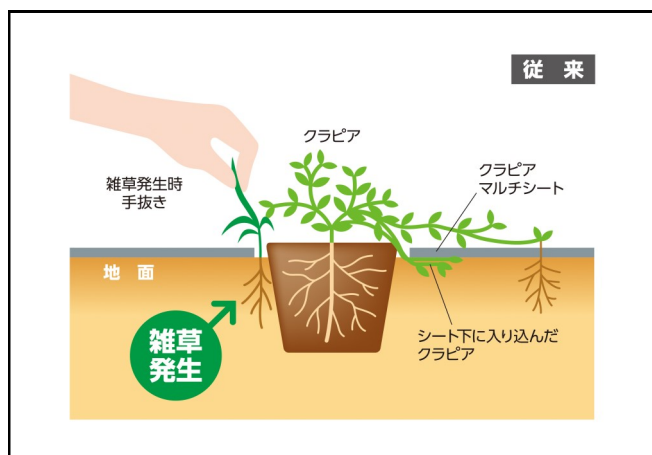


図-1 従来工法

従来工法では、

- クラピアとシートの間に隙間ができ、その隙間から雑草発生していた。
- 隙間から雑草が発生するので、定期的な草抜きが必要だった。
- クラピアのランナーがシートの下に入り込むことがあった。

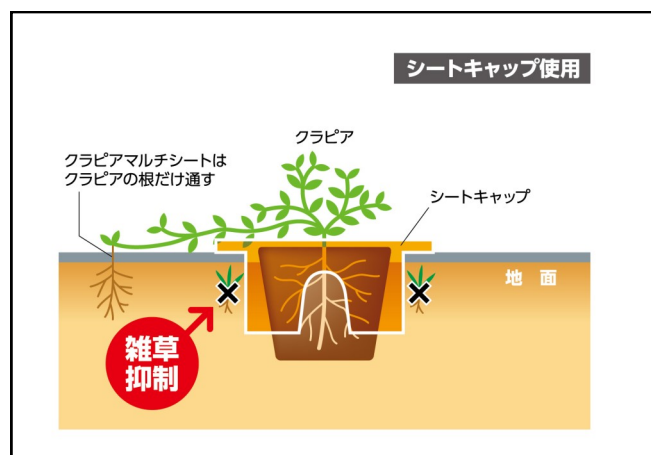


図-2 クラピアシートキャップ工法

クラピアシートキャップ工法では、

- クラピアとシートの間に隙間がなくなり雑草発生を抑制することができる。
- クラピアがシート下に入り込まなくなった。
- 植栽直後からの雑草発生が少なく、雑草抜きの作業が軽減した。

クラピアシートキャップ工法の特長

1. 植え穴からの雑草発生が少ない
2. 専用工具を使用することで誰が施工しても同じ仕上がり
3. 穴掘りの機械化で施工時間短縮
4. 専用工具はレンタル可能で施工費削減

（レンタル工具3点セット6,700円/泊）・2点セット6,400円/泊）九州・沖縄別途送料

クラピアシートキャップ工法の手順

(目安 800~1,000植栽/日/2~3人)
※植栽地の状況にもよります。

1、植栽位置に穴を開ける



マルチバーナーを植栽位置に当てる。

ポットと同等の穴が開く。



2、地面に穴を掘る



専用オーガーで地面に穴を掘る。残土はソイルキャッチャー(容器)へ。

ソイルキャッチャーを使用することで、シート上に残土残らない。



3、シートキャップをはめ



植え穴に専用肥料の有機一発肥料を投入する。

植栽穴にシートキャップをはめる。



4、クラピアを植栽する



クラピアを植え穴に入れる。(踏んでしっかり植えてください)

灌水を行う。(地面より若干低くすると水持ちが良くなります)



レンタル工具 3点セット6,700円/泊 (ハンマドリルセット・ソイルキャッチャー・バーナーセット)
2点セット6,400円/泊 (ハンマドリルセット・ソイルキャッチャー)



- ・ソイルキャッチャー (残土回収容器)
- ・ハンマドリル・ストッパー
- ・オリジナルオーガー



バーナーセット

- ・バーナー本体
- ・火口・ガスボンベ (1本)

レンタル時別途ご用意して頂くもの

- ・発電機 (1kw以上)
- ・着火マン・チョーク・延長コード

植栽時に必要なもの

- ・じょれん (レーキ)
- ・はさみ (カッター)
- ・巻尺・ハンマー・移植ゴテ
- ・灌水用具

レンタルまでの流れ

- ・工事会社様は販売店様からレンタル工具使用書をもって下さい。
- ・動画を確認しながらレンタル工具使用書に記入してください。
- ・記入後、グリーンプロデュースへFAXしてください。
- ・確認後、工事会社様へ連絡し打ち合わせ通りレンタル致します。(打ち合わせから到着するまでに1週間はかかります。)

返却時

レンタルボックス内にゆうパック着払い伝票があります。お近くの郵便局・ローソン等に返却して下さい。(伝票は記入済。)

(注)

- ・クラピア・シートキャップ・シートのご注文をいただけない場合は貸し出しできません。
- ・レンタル到着日の1週間前には使用書を提出してください。
- ・レンタル数に限りがあり、希望通りにレンタルできない場合があります。
- ・使用書をすべて記入しないと貸出できません。
- ・ガスボンベが不足した場合はお近くのホームセンターでご購入ください。
- ・レンタル箱内にある指示書に従ってください。
- ・悪天候の場合、使用できません。
- ・事故等の補償は負いかねます。